

西脇市就学前教育・保育 カリキュラム



西脇市・西脇市教育委員会

目 次

1	西脇市がめざす就学前教育・保育の基本方針	1
(1)	基本的な考え	1
(2)	めざす子ども像	2
2	西脇市就学前教育・保育カリキュラム	3
(1)	西脇市就学前教育・保育カリキュラムについて	3
(2)	発達の目安	7
(3)	0歳児～2歳児・3歳児～5歳児カリキュラム	8
(4)	0歳児～5歳児ビジュアル化カリキュラム	13
3	策定の経過	50

後 記

1 西脇市がめざす就学前教育・保育の基本方針

(1) 基本的な考え

乳幼児期は、保護者との信頼関係や、他の大人や子ども同士のかかわりの中で自尊感情と社会性が育まれ、自我の芽生えが始まる時期であり、人格形成の基礎が培われます。

しかし、近年少子高齢・地域コミュニティの希薄化など、成育環境は変わり、子どもの置かれている状況は大変厳しくなっております。

そこで、西脇市では、市内の就学前教育・保育環境について新たなステージに進むこととしました。市立8幼稚園は全て閉園し、幼稚園1園を新設、3歳児から5歳児までの複数年教育を実施します。

また、平成29年度から全ての地区に幼保連携型認定こども園が開設され、0歳児から5歳児までの就学前教育及び保育を実施していきます。

家庭での育児を大切にしながら、全ての子どもが教育・保育を受けることができ、異年齢集団の中で子どもの豊かな育ちや学びを保障していくことを目指していきます。

園には、年齢の幅、在園期間・時間の違い、保護者の就労の有無など、多様な子どもが在籍します。保育教諭及び幼稚園教諭一人一人が、適切な教育・保育を実践していくために、さらに子どもの理解をしていくことが大切です。

そのため、西脇市では、平成26年4月に国が告示した幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、「心情・意欲・態度」の視点を重視しながら、0歳児から5歳児までの「西脇市就学前教育・保育カリキュラム」を策定しました。

今後は、このカリキュラムに基づき、また各園の特徴も生かしながら、一人一人の子どもを大切に質の高い就学前教育・保育を推進し、小学校への円滑な接続を図ります。

(参考)

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」策定の考え方

平成26年に内閣府・文部科学省・厚生労働省から告示された「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」は、次の3つの基本的な考え方によって策定されました。

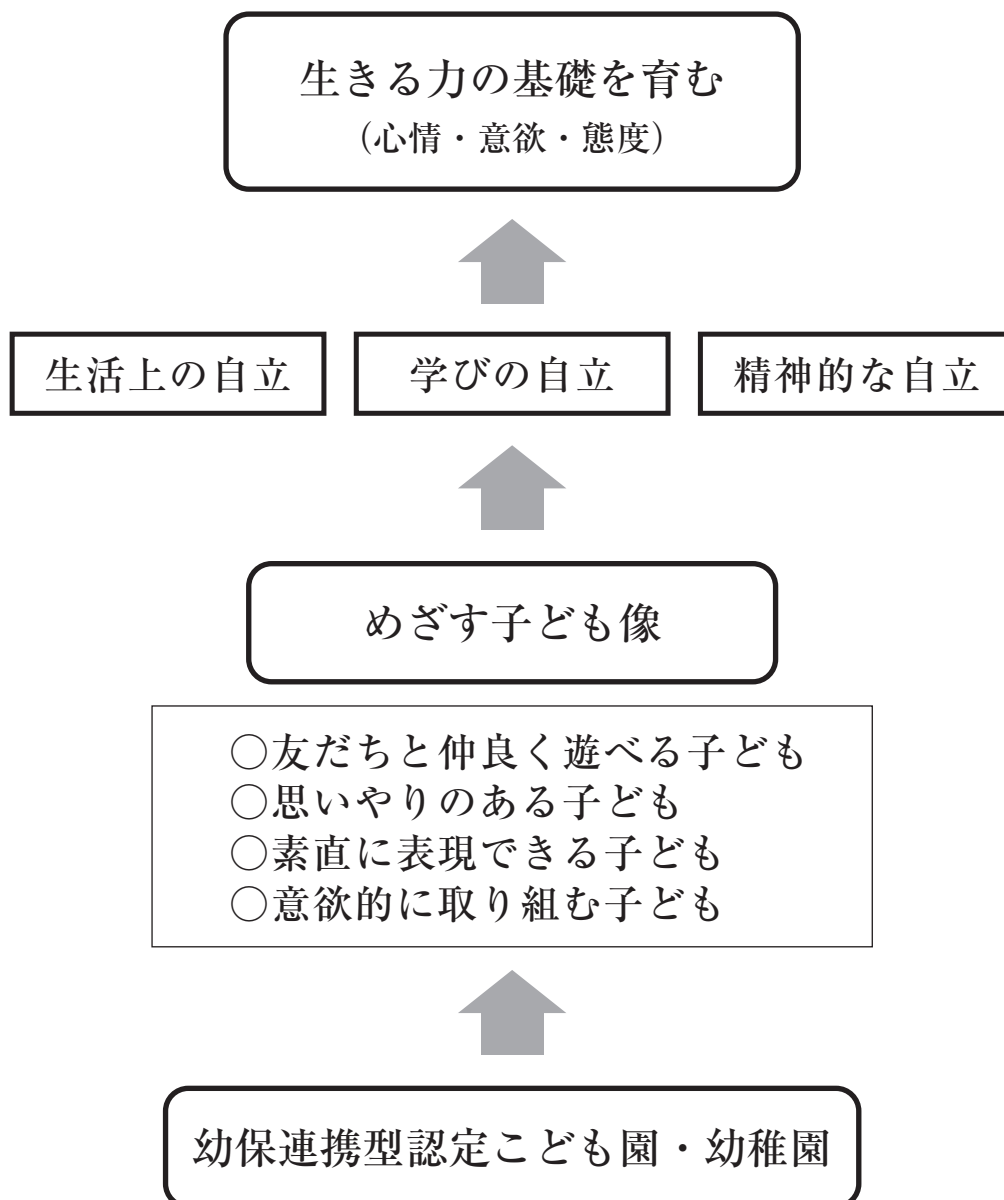
- (1) 子どもを取巻く環境を通しての教育及び保育の実施
- (2) 小学校教育との円滑な接続の重視
- (3) 幼保連携型認定こども園として特に配慮すべき事項

- ・ 0歳から小学校就学前までの一貫した教育・保育の展開をしていくものとしたこと。
- ・ 園児の一日の生活の連続性及びリズムに配慮するとともに、保護者の生活形態を反映した園児の在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、一人一人の状況に応じ、教育及び保育の内容やその展開についても工夫をするものとしたこと。特に入園及び年度当初は、生活の仕方やリズムに十分に配慮するものとしたこと。
- ・ 教育及び保育の環境の構成の工夫について、満3歳未満の園児と満3歳以上の園児に分けて明示したこと。

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」

(平成26年度内閣府文部科学省厚生労働省告示第1号)

(2) めざす子ども像



2 西脇市就学前教育・保育カリキュラム

(1) 西脇市就学前教育・保育カリキュラムについて

「西脇市就学前教育・保育カリキュラム」は、平成 24 年度に「就学前教育課程検討委員会」において作成された案を原案とし、西脇市の子どもたちにとって共通の育ちの部分について「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」を踏まえて策定しました。各園独自の教育・保育理念等を踏まえ「全体的な計画」（認定こども園）、「教育課程」（幼稚園）につなぐ基盤として位置付けています。今後、各園においては、既存の「全体的な計画」「保育課程」「教育課程」を見直し修正される際に、本カリキュラムを御活用ください。

ア 策定の枠組みについて

- (ア) 「0・1・2歳児クラス用」「3・4・5歳児クラス用」に分けて策定しています。
- (イ) 縦軸には、『保育の基盤としての「養護」』『生命の保持』と「情緒の安定」の2項目と『教育としてのねらい（育てたい・積み上げていきたいもの）』5領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）を心情・意欲・態度に分けて15項目から構成しています。
- (ウ) 「教育としてのねらい」は、「教育・保育要領」「指針」「要領」の「ねらい」の考え方と同じで、あくまでも「方向目標」を示しています。到達目標であれば、その年齢（クラス）で全員が到達するように考えることとなりますが、「方向目標」ですので、個々の子どもがその年齢（クラス）を通じて育っていく方向性を示しています。
- (エ) 各表の右欄に、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領 指針のねらい」を参照できるように記載しています。
- (オ) 表の下部に、「各年齢（クラス）での絵本の目安」「各年齢（クラス）での歌や手遊び歌の目安」を策定委員会の各園の実践をもとに例示しています。これは、各年齢で絶対に取り上げて欲しい絵本や歌を表しているのではなく、各園での参考となるように、およその実践の目安となるように例示したものです。

イ 見方・考え方

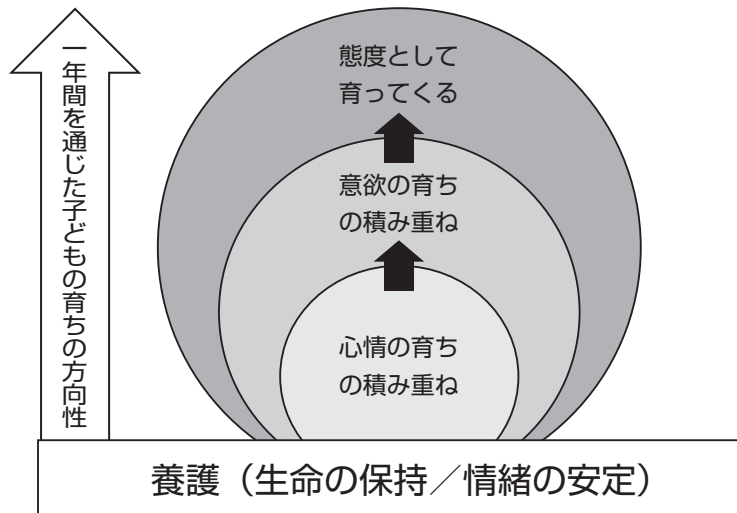
(ア) 『保育の基盤としての「養護」』について

「養護」は、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」で「第1章総則」に示され、保育の基盤として位置付けられています。そこでは、「乳幼児期においては生命の保持が図られ安定した情緒の下で自己を十分に発揮することにより、発達に必要な体験を得ていくものであること」を踏まえて、「園児の主体的な活動を促し、乳幼児期にふさわしい生活が展開されるようにすること」として養護の重要性が示されています。そして、「養護の行き届いた環境の下、生命の保持や情緒の安定を図るため、幼保連携型認定こども園における教育及び保育を展開するに当たっては、次の事項に留意すること」として、生命の保持と情緒の安定の留意事項が示されています。

そこで、本カリキュラムでは、養護は子どもが園生活の中で自己を十分に発揮することができるように、子どもの発達に応じて「生命の保持」と「情緒の安定」の2つの視点から保育者が留意する事柄を示しました。

- (イ) 『教育としてのねらい（育てたい・積み上げていきたいもの）』について
「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の第2章の最初に、「ねらいは、幼保連携型認定こども園修了までに育つことが期待される生きる力の基礎となる心情、意欲、態度などであり」というように「5領域のねらい」の捉え方を示しています。これは、前述した「方向目標」としての捉え方です。子どもの発達は個人差・月齢差が大きいものです。そのため、各年齢（クラス）で到達させなければならない基準としてではなく、何に向かって保育を進めていくかの方向付けとして捉えることが必要です。
- (ウ) 各年齢（クラス）においては、一人一人の子どもにとって、5領域はまず心情の育ちがあり、意欲が育っていきます。そして心情・意欲が育つ中で、徐々に態度が育っていきます。
- (エ) 各年齢（クラス）の1年の見通しや年間指導計画作成に当たっては、長期的な視点として、まず年度当初は「心情のねらい」を育てていくことを意識し、年度末に向けて少しずつ「態度のねらい」に示されたことが育つように考えます。
- (オ) 0・1歳児クラスは、成長が半年違えば体格も変わっていくように、身体・認知・情緒的側面が急速に育っていく時期ですが、個人差もかなり大きい時期でもあります。
そのため、各クラスの低月齢児や、年度途中の入所児の場合は、5領域それぞれの「心情のねらい」を十分に育てていくことを意識し、年度末に向けて少しずつ「意欲のねらい」が育つように考えます。また、高月齢児の場合も、最初は「心情のねらい」を十分に育てていくことを意識し、徐々に「意欲のねらい」を育む中で、少しずつ「態度のねらい」に示されたことが育つように育ちの方向性を考えます。
- (カ) 特に0歳児クラスは、在籍が少人数となりますが、月齢差や個人差に伴う身体面や運動面の差が著しく大きいのが特徴です。本カリキュラムの「0歳児」に示されている心情、意欲、態度のねらいは全ての子どもが達成していくべきものではなく、方向目標としての高月齢児を中心としたねらいにしています。そのため、(オ)に示したように、高月齢児の場合は、「心情のねらい」を十分に育てていく中で、徐々に「意欲のねらい」「態度のねらい」に示されたことが育つように育ちの方向性を考えます。
低月齢児の場合や年度途中の入所児の場合は、「心情のねらい」を十分に育てていくことを意識し、年度末に向けて少しずつ「意欲のねらい」が育つように育ちの方向性を考えます。
- (キ) 「心情」「意欲」「態度」の表現について
「心情」は基本的には「～を楽しむ」「～することの楽しさや充実感を味わう」といった形で表現し、「意欲」は「～する意欲が芽生える」「(進んで)～しようとする」といった「自ら伸びゆく子」、「主体的で意欲的な姿」になるような形で表現しています。そして「態度」は「十分に楽しんで行う」「楽しんで～する」「～を豊かにする」「～するようになる」といった育ちが積み重なってくる中で、年度末に向けて少しずつ育ってほしい姿を表現するようにしています。

心情・意欲・態度の育ち



ウ 5領域について

(ア) 健康

「運動面」「基本的生活習慣」だけでなく、健康のねらい「明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう」の心情面を意識した書き方をしています。また、低年齢では「手指や全身を使った遊び」を通しての身体諸機能の発達を意識しています。

(イ) 人間関係

5領域のねらいを踏まえながら、「かかわる力」「支えあう」「認め合う」「折り合う力」の育ちが積み重なるように意識しています。

(ウ) 環境

5領域のねらいを踏まえながら、「もっと知りたい」「気付き」「発見」などの育ちが積み重なり、小学校教育の基盤としての「知的好奇心」「探究心」の育ちにつながるようにしています。

(エ) 言葉

言葉のねらい「自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう」を主として0・1・2・3歳児の育ちの基盤とし、少しずつ「人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたこと」を話す力の育ち、そして、4・5歳児で「伝え合う喜び」の育ちにつながるようにしています。また、「日常生活に必要な言葉が分かるようになる」とともに、絵本や物語などに親しみ、先生や友達と心を通わせる」は、全年齢で発達に応じて育つようにしています。

(オ) 表現

低年齢では「感性の育ち」と「自己表現の育ち」を基盤にし、4・5歳児で「イメージする力」「イメージを共有しながら遊ぶ力」の育ちにつながるようにしています。

エ ビジュアル化カリキュラムについて

「西脇市就学前教育・保育カリキュラム」をより具体的にイメージしやすいように、領域の表の形式をもとに、カリキュラムの内容を、西脇市の各保育所・認定こども園・幼稚園から提供いただいた写真を使ってビジュアル化したものを作成しています。

カリキュラムに示された遊びや生活を忠実に再現するためのものではなく、また、写真に写っている遊びや活動を取り入れて、実施しなくてはならないと捉えるものではなく、参考資料として活用できるように作成しました。

「ビジュアル化カリキュラム」の活用方法としては、次のとおりです。

- ① 各園での「全体的な計画」「教育課程」等の修正や策定に際して、本カリキュラムの5領域のねらいを再確認するとともに、写真を通し具体的にイメージします。
- ② 掲載されている写真を貴園の保育場面の写真に差し替え、「ビジュアル化カリキュラム」を作成し、職員間での教育・保育の共通理解を図る資料とします。
- ③ 各クラスの年間指導計画等を作成するに当たっての資料として活用します。

(ア) 項目について

(a) 発達の特徴

同年齢の子どもの均一的な発達の基準ではなく、一人一人の子どもの発達の過程として捉えています。

※ 「保育所保育指針（平成 20 年 3 月改訂）第 2 章子どもの発達」よりまとめています。

(b) カリキュラムの項目の養護及び5領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の（心情・意欲・態度）を記載しています。

(c) 写真の読み取りについて

「心情」 遊び始めのものや、心が動き始めたもので、「～する楽しさ」「～することを楽しむ」を意識して読み取ることにしました。

「意欲」 初めての経験ではなく、継続性があるもので、「もっと～したい」「進んで～したい」という子どもの思いを読み取ることにしました。

「態度」 何度も似たような経験や同じ経験が積み重なってくる中で育ってきて、自然にできるようになっている（いつの間にか当たり前ができるようになっている）姿を読み取ることにしました。

(d) 写真の吹き出し

子どもの思いや様子がより分かるように表現しています。

(e) 写真の読み取り

写真からポイントとなることの読み取りを記載しています。

(f) 保育者の役割

子どもの育ちを支えるためには、保育者の役割が重要であるので、子どもの発達や育ちを踏まえて年齢に応じた保育者の役割を、写真（心情・意欲・態度）に関連付けて、どのような援助（かかわり方）や留意点がポイントになるかを記載しています。

※ ビジュアル化にあたり、0歳児クラスの写真は、低月齢児の歩行をし始める前の子どもの写真を使っています。それに合わせて「読み取り」は、低月齢児に合わせた書き方をしています。「保育者の役割」は、低月齢児だけではなく、歩行をし始めた高月齢児も含めて考えています。

※ 写真の掲載については、保護者の承諾を得ています。

(2) 発達の目安

(母子保健法及び厚生労働省令様式より抜粋)

★ 母子手帳では、下記の項目の語尾は「～することができる」という表現で発達の目安を示しています。

月齢・年齢の目安	身体・運動機能の育ち	言語面の育ち	遊び・認識面の育ちなど	生活面の育ち
1か月頃	○裸にすると手足をよく動かすことができる		○大きな音にビクッと手足を伸ばしたり、泣き出すなど、反応する	○お乳をよく飲むことができる
3～4か月頃	○首がすわっている	○見えない方向から声をかけると、そちらの方を見ようとする事ができる	○あやすとよく笑う	
6～7か月頃	○寝返りをうつことができる ○ひとりすわりをすることができる	○大人と一緒にいるとき話しかけるような声を出す ○音がすると、その方向を見る		
9～10か月頃	○はいはいをすることができる ○つかまり立ちをすることができる ○指で、小さい物をつまむことができる	○そっと近づいて、ささやき声で呼びかけると振り向く	○機嫌よくひとり遊びをする ○後追いをすることができる	
1歳の頃	○つたい歩きをすることができる ○バイバイ、コンニチハなどの身振りをすることができる	○言葉をかけながら、部屋の離れたところにあるおもちゃを指さすと、その方向を見ることができる	○一緒に遊ぶと喜ぶ ○音楽に合わせて、からだを楽しく動かすことができる	○1日3回の食事のリズムがつく ○歯みがきの練習を始めている
2歳の頃	○走ることができる	○2語文(ワンワンきた、マンマちょうだい)など可以说うことができる	○積木で塔のようなものを作ったり、横に並べて電車などにみたてたりして遊ぶ ○テレビや大人の身振りのまねをする	○スプーンを使って自分で食べることができる
3歳の頃	○手を使わずにひとりで階段をのぼることができる	○自分の名前を言うことができる	○クレヨンなど丸(円)を書くことができる ○ままごと、ヒーローごっこなど、ごっこ遊びをする	○衣服の脱着をひとりでしただがる ○歯みがきや手洗いができる ○よくかんで食べる習慣を身に付けている
4歳の頃	○階段の2、3段目の高さからとびおることができる ○片足でケンケンができる	○自分の経験したことをお母さんやお父さんに話すことができる	○友だちとごっこ遊びをする ○はさみを上手に使うことができる	○衣服の脱着ができる ○歯みがき、口ゆすぎ(ぶくぶくうがい)、手洗いができる ○おしっこがひとりでできる
5歳の頃	○でんぐり返しができる	○はっきりした発音で話ができる ○お話を読んであげると、その内容がわかるようになる	○思い出して絵を書くことができる ○集団生活になじみ、楽しく過ごすことができる ○動物や花をかわいがったり、他人を思いやる気持ちをもったりすることができる	○うんちがひとりでできる
6歳の頃	○片足で5～10秒立っていることができる	○ひらがなの自分の名前を読んだり、書いたりできる	○四角の形をまねて、書くことができる ○約束やルールを守って、遊ぶことができる	○自分の「前後」「左右」がおおよそわかる ○おもちゃやお菓子などをほしくても、我慢することができる

0歳児～2歳児・3歳児～5歳児 カリキュラム



		0歳児	1歳児	2歳児	幼保連携型認定こども園教育・保育要領 指針のねらい	
保育の基盤としての「養護」	生命の保持	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の子どもの食欲、睡眠、排泄などの生理的欲求を十分に満たしながら、生活のリズムを形成していけるようにする。 保育者の愛情豊かな受容により気持ちよく過ごせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の子どもの生理的欲求や甘えなどの依存欲求を満たすとともに、生活のリズムを大切にしながら快適に過ごせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健的で安全な環境をつくり、快適で健康的に生活できるようにする。 一人一人の子どもの生理的欲求や依存欲求を十分に満たし、園の生活のリズムのもとで快適に過ごせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の子どもが、「快適に生活できるようにする」「健康で安全に過ごせるようにする」「生理的欲求が、十分に満たされるようにする」「健康増進が、積極的に図られるようにする」。 	
	情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> 特定の大人とのかかわりやスキンシップを十分にとることを通して、一人一人の子どもの甘えなどの依存欲求を満たし、情緒の安定を図る。 静かで安心できる環境を作り、十分に休息できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の子どもの気持ちを理解し、受容することにより情緒の安定を図り、子どもとの信頼関係を深め、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。 子どもの心の変化を感じ抱きしめたり言葉をかけたりして、安心感を得られるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の子どもの気持ちや自己主張や欲求等を理解し、受容することにより、子どもとの信頼関係を深め、安心して自分の気持ちを表し受け止めてもらえる嬉しさを感じることができるようにする。 一人一人の成長を認め、自分でできたという自信につながるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の子どもが、「安定感を持って過ごせるようにする」「自分の気持ちを安心して表すことができるようにする」「周囲から主体として受け止められ主体として育ち、自己を肯定する気持ちが育まれていくようにする」「心身の疲れが癒されるようにする」。 	
教育としてのねらい（育てたい・積み上げていきたいもの）	健康	心情	<ul style="list-style-type: none"> 安全で清潔な環境の中で、生理的欲求を満たしてもらいながら健康で気持ちよく過ごすことや、清潔になることの喜びや心地よさを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全で活動しやすい環境の中で、自由に体を動かすことを楽しむ。 自分で食べようとする気持ちを持って、食事や間食を取ることを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心できる保育者との関係のもとで、排泄や簡単な衣服の着脱、食事などの身の回りのことを自分でできる喜びを感じる。 友達と一緒に食事や間食をとることを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ①明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 ②自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 ③健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。
		意欲	<ul style="list-style-type: none"> つまむ、たたく、ひっぱるなど手や指を使って遊ぼうとしたり、興味のある所へ行こうとしたりするなど、自立の意欲が芽生える。 いろいろな食べ物に興味を持って食べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> いじる、たたく、つまむ、転がすなど手や指を使った遊びを繰り返し楽しむようになる。 安心できる保育者との関係のもとで、食事、排泄などの活動を通して、自分でしたいという気持ちが芽生える。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心できる保育者との関係のもとで、食事、排泄などの簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。 安全で活動しやすい環境の中で、意欲的に自由に体を動かそうとする。 	
		態度	<ul style="list-style-type: none"> 個人差に応じて、簡単な生活リズムを身に付け、心地よく過ごす。 個人差に応じて、基礎的な身体的活動（寝返り、お座り、はいはい、立つ、伝い歩き、歩くなど）十分に楽しんで行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人差に応じて、身体的な運動（登る、降りる、跳ぶ、くぐる、押す、引っ張るなど）を取り入れた遊びを楽しんで行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活に必要な活動（食事、排泄、衣服の着脱など）を身に付ける。 喜んで体を動かしたり、手や指を使ったりして遊ぶようになる。 	
	人間関係	心情	<ul style="list-style-type: none"> 安心できる保育者とのスキンシップなどを通して十分にかかわり、甘える、すねるなどの自分の思いを受け止めてもらい、安心感や楽しさ、満足感を味わう。 安心できる保育者に見守られて、玩具や身の回りのもので一人遊びを十分に楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心できる保育者に見守られ、外遊びや、玩具や身の回りのもので一人遊びを十分に楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心できる保育者との関係のもとで、外遊びやいろいろな一人遊びを十分に楽しむとともに、簡単な身の回りの活動を自分でする喜びを感じる。 様々な人が身の回りにいることを知り、徐々に友達とかかわって遊ぶ楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ①園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ②身近な人と親しみ、かかわりを深め、愛情や信頼感を持つ。 ③社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。
		意欲	<ul style="list-style-type: none"> 安心できる保育者とともに過ごすことを喜び、生活や遊びの中で身近な人を求めようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心できる保育者の見守りの中で、身の回りの大人や子どもに関心を持ち、同じようなことをして喜んでかかわろうとする。 園生活の中の簡単なルールや約束事があることを知り、守ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達への関心が芽生え、自らの合う友達や保育者とかかわろうとする。 友達とのかかわりの中で、簡単な約束ごとや順番などを知り、守ろうとする。 	
		態度	<ul style="list-style-type: none"> 喜んで保育者にかかわり、生活や遊びの中での保育者のすることに興味を持ったり、楽しみながら模倣したり、同じことをする。 安心できる保育者とかかわりを通して自分の思いを受け止めてもらう中で、特定の保育者に安心感や信頼感を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 信頼できる保育者に、安心して自らかかわるとともに、視界の範囲内で自分の力で遊んだり、行動したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 気の合う友達とかかわって遊ぶことを通して、一緒に行動したり、同じ遊びを一緒に楽しんだりする。 	
	環境	心情	<ul style="list-style-type: none"> 安心できる環境のもと、絵本や玩具、身近な生活用具が用意された中で、心地よさを感じ、身の回りのものに対する興味や好奇心が芽生える。 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りのいろいろなものに好奇心や興味を持って、自由にいじったり、触ったりしながら遊ぶことを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの事物や親しみの持てる自然や動植物を見たり、触れたり、保育者から話を聞いたりして興味や関心を持つ。 身近な自然や環境などに自らかかわる中で、触ってみたり、試してみたりすることを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ①身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。 ②身近な環境に自分からかかわり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 ③身近な事物を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。
		意欲	<ul style="list-style-type: none"> 身近なものや自然物に興味や関心を持ち、喜んで見たり、触れたり、聞いたりなど五感を通して自らかかわろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りのいろいろなものに関心を持ち、開けたり閉めたり、押したり引いたり、投げたり追いかけてたりして試してみようとする。 保育者を仲立ちとして、身近な自然や環境を生活や遊びに取り入れて遊ぼうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの事物や親しみの持てる自然や動植物などの興味や関心が広がり、自らかかわろうとする。 身近な自然や環境などに自らかかわる中で、小さな発見や気付きをしながら、もっとやりたいという意欲を持ってかかわろうとする。 	
		態度	<ul style="list-style-type: none"> いろいろなものに興味を持ち、触ったり、つかんだり、つまんだりするなど五感を使って楽しんで遊ぶ中で、自ら身近な環境に働きかけ、感覚を豊かにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りにある好きな玩具や遊具、自然物に自分からかかわり、喜んで十分に遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの事物などにかかわる中で、簡単な色・形・物の性質などに関心を持ち、繰り返しかかわって楽しんで遊ぶ。 自分の思いやめあてを持って、身近な自然や身の回りの事物を取り入れながら喜んで十分に遊ぶ。 	
	言葉	心情	<ul style="list-style-type: none"> 安心できる保育者とかかわりの中で、あやされると声を出して喜んだり、喃語（なんご）や片言を優しく受け止めてもらったり、発語や保育者とのやりとりを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者の話しかけや発語に回答してもらおうことを喜んだり、自分から片言で話す楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者を仲立ちとして、生活やいろいろな遊びの中で言葉のやりとりを楽しむ。 絵本などを読んでもらったり、自分で見たりすることを通して、イメージしながら絵本や物語を見たり聞いたりすることを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ①自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 ②人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 ③日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、先生や友達と心を通わせる。
		意欲	<ul style="list-style-type: none"> 安心できる保育者から優しく語りかけられたり、発声や喃語（なんご）に回答されたりすることを喜び、嬉しい気持ちを自らの発語で伝えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活や遊びの中で簡単な言葉を使おうとしたり、大人の言うことを理解しようとしていたりする。 自分のしたいこと、してほしいことや、「いや」「だめ」などの自分の気持ちを、指さしと片言などを使って伝えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の気持ちや、見たり、触れたり、感じたりしたことを言葉で伝えようとして、言葉のやりとりをしようとする。 保育者や友達と積極的に言葉のやりとりをしながら、イメージを広げて楽しんで遊ぼうとする。 	
		態度	<ul style="list-style-type: none"> 発声や喃語（なんご）・片言・指さしなどを使って、自分の気持ちややりたいことを表す。 名前を呼ばれると反応したり、語りかけられることによって、声を出して応答したりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者や友達と喜んで簡単な言葉のやりとりをしながら遊ぶ。 興味ある絵本を保育者と一緒に見ながら、簡単な言葉の繰り返しをしたり模倣をしたりして遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のしたいこと、してほしいことなどを身振りや言葉で積極的に表現する。 生活やいろいろな遊びでのやりとりや、絵本などを通して、日常生活に必要な言葉や、身の回りの様々なものの名前などが分かるようになる。 	

		0歳児	1歳児	2歳児	幼保連携型認定こども園教育・保育要領 指針のねらい
表現	心情	・ふれあい遊びなどを通して、音やリズムの楽しさを味わう。 ・保育者と一緒にきれいな色彩のものや身近なものの絵本を見ることを楽しむ。	・絵本、玩具などに興味を持って遊び、見立て遊び、つもり遊びを楽しむ。 ・手遊びや身近な音楽に親しみ、それに合わせて手や体を動かしながら表現して楽しむ。	・保育者と一緒に、水、砂、土、紙、粘土などのいろいろな素材の感触を楽しむ。 ・保育者と一緒に人や動物などの模倣をしたり、経験したことを思い浮かべたりして、ごっこ遊びを楽しむ。	①いろいろな物の美しさなどに対する豊かな感性を持つ。 ②感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 ③生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
	意欲	・楽しんで歌やリズムに合わせて手や足や体を動かそうとする。	・興味のあることを自分なりに表現しようしたり、歌に合わせて手遊びをしたり、リズムに合わせて踊ろうとしたりする。 ・保育者と一緒にいろいろなものや素材に触れながら、それらに楽しんでかかわろうとする。	・生活や遊びの中で、興味のあることや経験したことなどを自分なりに表現しようとする。 ・好きな歌を歌ったり、様々な身体表現を楽しんだりしようとする。	
	態度	・応答的なかわりの中で、泣く、笑うなどの感情表現を十分に示す。	・保育者と一緒に歌ったり、簡単な手遊びをしたり、体を動かしたりして喜んで遊ぶ。	・歌に合わせて手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かしたりする。 ・保育者や友達と遊ぶ中で、自分なりのイメージを膨らませて遊ぶ。	

参考資料

絵本	<ul style="list-style-type: none"> ・「ノンタン」シリーズ キヨノサチコ、偕成社 ・「いないいないばあ」松谷みよ子、童心社 ・「びよーん」まつおかたつひで、ポプラ社 ・「あかちゃんのうた」松谷みよ子、童心社 ・「がたんごとんがたんごとん」安西水丸、福音館書店 ・「おつきさまこんばんは」林明子、福音館書店 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぞうくんのさんぽ」なかのひろたか、福音館書店 ・「おっばい」まつおかたつひで、そうえん社 ・「ひとりであんちでできるかな」きむらゆういち、偕成社 ・「がたんごとんがたんごとん」安西水丸、福音館書店 ・「たまごのあかちゃん」神沢利子、福音館書店 ・「だるまさん」シリーズ かがくいひろし、プロンズ新社 ・「もこもこ」谷川俊太郎、文研出版 ・「ねないこだれだ」せなけいこ、福音館書店 	<ul style="list-style-type: none"> ・「うずらちゃんのかくれんぼ」きもともこ、福音館書店 ・「はらぺこあおむし」エリックカール、偕成社 ・「わにわにくん」シリーズ 小風さち、福音館書店 ・「ぞうくんのさんぽ」なかのひろたか、福音館書店 ・「どうぞのいす」香山美子、ひさかたチャイルド ・「3びきのこぶた」瀬田貞二、福音館書店 ・「おおきななな」トルストイ、福音館書店 ・「はけたよはけたよ」神沢利子、偕成社 	
歌・手遊び歌	<ul style="list-style-type: none"> ・「げんこつやまのたぬきさん」わらべうた ・「パンダうさぎコアラ」高田ひろお作詩、乾裕樹作曲 ・「いっほんばしこちよこちよ」わらべうた ・「いとまき」外国曲 ・「あがりめさかりめ」わらべうた ・「ぞうさん」まどみちお作詩、團伊玖磨作曲 ・「むすんでひらいて」作詩者不詳、ルソー作曲 ・「とんとんとんとんひげいさん」作詞者不明、玉山英光作曲、小島弘章編曲 	<ul style="list-style-type: none"> ・「てをたたきましよう」小林純一作詩、作曲者不詳 ・「あたまかたひざぼん」作詞者不詳、イギリス民謡 ・「いぬのおまわりさん」佐藤義美作詩、大中恩作曲、伊東慶樹編曲 ・「げんこつやまのたぬきさん」わらべうた ・「むすんでひらいて」作詩者不詳、ルソー作曲 ・「とんとんとんとんひげいさん」作詞者不明、玉山英光作曲、小島弘章編曲 ・「パンダうさぎコアラ」高田ひろお作詩、乾裕樹作曲 ・「おおきなたいこ」小林純一作詩、中田義直作曲 ・「かたつむり」文部省唱歌 	<ul style="list-style-type: none"> ・「しあわせならてをたたこう」アメリカ曲、木村利人作詩、一宮道子編曲 ・「あくしゅでこんにちは」まどみちお作詩、渡辺茂作曲 ・「やまのおんがくか」水田詩仙訳詩、ドイツ民謡 ・「てをたたきましよう」小林純一作詩、作曲者不詳 ・「おもちゃのチャチャチャ」野坂昭如作詩、吉岡治補作、越部信義作曲、伊東慶樹編曲 ・「いぬのおまわりさん」佐藤義美作詩、大中恩作曲、伊東慶樹編曲 ・「ぞうさん」まどみちお作詩、團伊玖磨作曲 ・「チューリップ」近藤宮子作詞、井上武士作曲 ・「かえるの合唱」岡本敏明作詞、ドイツ民謡 	<ul style="list-style-type: none"> ・こどものうた 200、小林実美編、チャイルド本社 ・続こどものうた 200、小林実美編、チャイルド本社 ・音楽リズム、小林実美編、東京書籍 ・http://www.teasobi.com/teasobi/atama/index.html ・http://j-lyric.net/artist/a00126c/1001078.html ・http://hoick.jp/mdb/detail/9920/%E3%81%AB%E3%81%98



		3歳児	4歳児	5歳児	幼保連携型認定こども園教育・保育要領 指針のねらい	
保育の基盤としての「養護」	生命の保持	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的生活習慣が身に付くように促し、快適で健康的に生活できるように一人一人に応じた適切な援助をする。 ・ 生理的欲求を十分に満たし、全身を使った活動を楽しみ、快適に過ごせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活に必要な基本的生活習慣の自立を促し、快適で健康的に生活できるように一人一人に応じた適切な援助をする。 ・ 全身を使った活動等を楽しみ中で、健康増進が積極的に図ることができるように適切な援助を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活に必要な基本的生活習慣が確立し、快適で健康的に生活できるように一人一人に応じた適切な援助をする。 ・ 全身を使った活動等を通して、健康増進が積極的に図られるように、適切な援助をする。 	一人一人の子どもが、「快適に生活できるようにする」「健康で安全に過ごせるようにする」「生理的欲求が、十分に満たされるようにする」「健康増進が、積極的に図られるようにする」。	
	情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人の子どもの思いを受け止め、認めることで、主体的に活動できるようにする。 ・ 一人一人の成長を認め、自分でしたい思いを大切にし、自分で自信を持って行動できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団の中で、自己を十分に発揮し、自分の気持ちを安心して表現する中で、自信を育て、自己肯定感を持てるようにする。 ・ 意欲的に活動する中で、自分でしたい思いを大切にしながら活動のバランスを取りながら、心身の疲れが癒されるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団の中で自己を十分に発揮する中で、自分の気持ちを安心して表現し、互いに認め合い、信頼関係を育みながら、自信を持って行動できるようにするとともに、自己肯定感・自立心・社会性を持てるようにする。 ・ 意欲的、主体的に活動する中で、活動のバランスを取りながら、心身の疲れが癒されるようにする。 	一人一人の子どもが、「安定感を持って過ごせるようにする」「自分の気持ちを安心して表すことができるようにする」「周囲から主体として受け止められ主体として育ち、自己を肯定する気持ちが育まれていくようにする」「心身の疲れが癒されるようにする」。	
教育としてのねらい（育てたい・積み上げていきたいもの）	健康	心情	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活の流れに見通しができ、排泄や簡単な衣服の着脱、食事などの身の回りのことを自分で行動できる喜びを感じる。 ・ 食事のマナーがわかり、友達と一緒に食べることを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康、安全に必要な基本的生活習慣や態度を身に付け、自信を持って遊びや生活を進めていく充実感を味わう。 ・ 伸び伸びと行動し、友達と一緒に遊びや生活を進めていく楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康、安全に必要な基本的生活習慣や態度を身に付け、責任感を持って行動しようとする。 ・ 伸び伸びと行動し、友達と目的を持って生活する充実感を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ①明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 ②自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 ③健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。
		意欲	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な運動能力を身に付け、身体を動かす楽しさを味わう。 ・ 保育者に見守られながら、食事や排泄などの簡単な身の回りのことや生活の流れを理解し、見通しを持って行動しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康、安全に必要な基本的な習慣や態度を意識して、自分で考え、行動しようとする。 ・ 遊びや園生活の流れに見通しを持って行動し、友達と一緒に遊びや運動などをしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康、安全に必要な基本的な習慣や態度を身に付け、自主的に行動しようとする。 ・ 体を十分に動かし、進んで友達と一緒に遊びや運動などに挑戦しようとする。 	
		態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身の回りの始末の仕方を知り、見通しを持って行う。 ・ 基本的な運動能力が育ち、健康的な生活の仕方を知り、基本的生活習慣が身につく、自分のことを進んでできるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康、安全に必要な基本的な習慣や態度に気付いて、生活の見通しを持って行動する。 ・ 友達と一緒に体を動かして伸び伸びと活発に遊ぶ中で、身体を巧みに使って活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康、安全に必要な基本的な習慣や態度を身に付け、気付いて行動できるようになる。 ・ 体を十分に動かし、友達と一緒に遊びや運動などを進める楽しさを味わいながら生活するようになる。 	
	人間関係	心情	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達や遊びやかかわりが広がり、ごっこ遊びやいろいろな遊びの中で、友達とのかかわりを楽しむ。 ・ きまりがある中で、気の合う友達とかかわって遊ぶ楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達と一緒に遊ぶ中で、一緒に遊びを進めていく楽しさを味わう。 ・ 友達と共に園生活を楽しむ中で、自分の力で行動することの充実感を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達と協力し合い、試行錯誤しながら目標に向かって取り組む中で、生活や遊びを共に進めていくことの喜びや楽しさを感じるとともに達成感、充実感を味わう。 ・ クラスのみんなで互いのよさを知り、認め合い、協力する楽しさを味わう中で、友達との関係を深め、自分を受け止めてもらう心地よさを感じながら園生活を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ①園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ②身近な人と親しみ、かかわりを深め、愛情や信頼感を持つ。 ③社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。
		意欲	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな遊びを通して、イメージを共有しながら、友達とのかかわりを広げていく。 ・ いろいろな経験や友達とのかかわりの中で、きまりがあることを知り、守ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろなことに興味や関心を持ち、自分で考えを試したり、やってみたり、あきらめず取り組もうとする。 ・ 友達と一緒に生活や遊びを進めていく中で、身近な人と親しみ、かかわりを深めていき、自分の思いに気付きながら、相手の思いも受け入れようとするとともに、共感し合ったり、ありがとう・ごめんなさいなどの気持ちを相手に伝えようとしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達と喜びや悲しみを共感しながら信頼関係を育み、自分たちの力で遊びや行事などいろいろなことにチャレンジして、最後までやり通そうとする。 ・ 遊びの中で互いに意見や感情の行き違いを経験しながら、相手の気持ちや考えを認め合い、折り合いをつけながら、よりよい方法を見つけようとするとともに、そのことを通してより強い仲間意識を育もうとする。 	
		態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気の合う友達や保育者とイメージを共有して遊ぶ中で、ゆずったり、がまんしたり、ルールのある遊びなどを楽しむようになる。 ・ 友達と遊ぶ中で簡単なきまりをついたり、守ったりするようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びや行事などで、友達や様々な人とかかわりを通して、自分の思いに気付き、相手の思いも受け入れて協調する。 ・ 生活や遊びの中で互いに思いや感情の行き違いを経験したり、折り合いをつけたりしながら、社会生活における望ましい習慣や態度が身に付くようになってくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びや行事や地域交流などを通して、身近な人への感謝の気持ちや思いやりの気持ちを育みながら、自分の感情をコントロールしたり、葛藤を乗り越えたりする中で、相手のことも受け入れられるようになる。 ・ 年長児としての自覚を持ち、友達や異年齢児を思いやる気持ちを持ってかかわる。 ・ 成長した喜びを味わいながら就学への期待を持ち、自信を持って行動しようとする。 	
	環境	心情	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な自然や動植物に興味・関心を持ってかかわり、好奇心をいだいて生活や遊びに取り入れられたりする中で、いろいろなものを見たり、触れたり、試したり、試行錯誤しながら遊びを進めていく楽しさを味わう。 ・ 身近な自然や動植物などに触れ合ったり、かかわったりする中で、その美しさや不思議さなどを感じたり、発見したりする楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な事象や自然環境に興味・関心を持ち、いろいろな物を見たり、触れたり、試行錯誤して遊びを進めていく中で、友達と一緒に試したり、考えたり、工夫したりして遊びを進めていく楽しさを味わう。 ・ 身近な自然や動植物などに触れ合ったり、かかわったりする中で、その美しさや不思議さ、命の尊さなどを感じながら、興味や関心を深めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な自然、社会事象と触れ合い、生活に関係の深い様々な事象への興味・関心を持つとともに、身近な環境を遊びに取り入れ、友達と一緒に試したり、考えたり、工夫したり、気付きや発見を伝え合ったり、不思議さを感じたりしながら、興味や関心を深めていく。 ・ 身近な自然や環境、動植物などにかかわる中で、その美しさや不思議さ、命の尊さ等を感じ、様々な方法でかかわったり、表現したりすることを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ①身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。 ②身近な環境に自分からかかわり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 ③身近な事物を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。
		意欲	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な自然や動植物に興味・関心を持ってかかわり、様々な事象におもしろさや不思議さを感じたり、いたわりの心を持って自分からかかわろうとしたり、生活や遊びに取り入れようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な事象や自然環境に興味・関心を持ち、自分たちで気付いたり、考えたり、工夫したりして遊びに取り入れようとする。 ・ 愛情を持って身近な自然や動植物に接する中で、それらについて絵本や図鑑で調べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な自然、社会事象を見たり、触れたり、扱ったりする中で、様々な事象に関心を持ち、工夫したり、創造したりしながら、遊びや生活に取り入れようとする。 ・ 身近な自然や動植物に興味・関心を持ち、接したり世話をすることで、生命の尊さに気付き、いたわったり、大切にしたりしようとする。 	
		態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な自然や動植物に興味・関心を持ってかかわり、生活や遊びに取り入れるようになる中で、大小・多少・長短や簡単な物の性質や不思議さなどに気付くようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な事象や環境に興味・関心を持ち、試したり、工夫したり、比べたり、数えたりなどする中で、物の性質や数・量・形、時間、文字などに対する感覚を豊かにする。 ・ 身近な自然や動植物にかかわる中で、おもしろいと思ったことや不思議に思ったことなどを伝え合い、共感し合う中で、身近なものや生命を大切にしたい気持ちを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然や身近な環境を遊びや生活に取り入れ、試したり、工夫したり比べたり、数えたりなどする中で、一緒に共通の目標や目的に向かって問題解決していくことを通して、物の性質や数・量・形、時間などに対する感覚を豊かにする。 ・ 身近な事象や動植物から感じた感動を伝え合い、共感し合う中で、生命の尊さを感じ、生命を大切にしたい気持ちを持つ。 	

		3歳児	4歳児	5歳児	幼保連携型認定こども園教育・保育要領 指針のねらい	
教育としてのねらい (育てたい・積み上げていきたいもの)	言葉	心情	・自分が思ったこと、感じたことを言葉で表現し、言葉のやりとりや会話を楽しむ。	・自分が見たり、聞いたり、経験したりしたことなどを話したりするとともに、友達との言葉のやりとりに興味・関心を持ち、友達の話を聞き、伝え合う楽しさや喜びを味わう。 ・絵本や物語などに親しむ中で、イメージを膨らませながら、いろいろな絵本や物語などに興味や関心を持つ。	・友達と共通の目的に向かって活動し、思いや考えを出し合ったり、相談したりしながら遊びを進めていく中で、友達とのつながりを深め、思いを伝え合い、共感し合う喜びを感じる。 ・日常生活に必要な言葉が分かるようになり、日常のあいさつや友達と相談したり、感謝の気持ちを伝え合ったりする心地よさや喜びを感じる。	①自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 ②人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことを考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 ③日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、先生や友達と心を通わせる。
		意欲	・自分が経験したことや思ったこと、感じたことを進んで伝えたり、相手の話を聞いたりしながら、積極的に言葉のやりとりや会話をしようとする。	・自分の気持ちや考えを言葉で表現したり伝えようしたり、身近な人や友達の話に興味や関心を持ってしっかり聞こうとする中で、保育者や友達との会話を楽しみ、相手に伝わるように話す工夫をしようとする。 ・一緒に遊びや生活を進めていくにあたって、友達と積極的に言葉のやりとりをしながら進めていくこととする。	・自分がしたり、見たり、考えたりしたことや思いを、相手にわかるように伝えようとするとともに、友達の話をよく聞き、相手の思いや気持ちを考えて発言しようしたり、生活や遊びの中で、場に応じたやりとりをしようとする。 ・絵本や物語、言葉遊びなどに親しむ中で、言葉の美しさや面白さなどに気付く。	
		態度	・身近な人や友達の話に興味・関心を持って聞いたり、自分の気持ちや思いを言葉で表現したりする中で、友達と一緒に遊びや生活をする。 ・遊びや生活でのやりとりや、絵本や物語などに親しみ、日常生活に必要な言葉や話し言葉の基礎を身に付けていき、言葉で積極的に表現するようになる。	・身近な人の話をしっかり聞いたり、相手に自分の気持ちや考えを言葉で表現して伝えたりして、友達と一緒に遊びを進められるようになる。 ・園生活の中で、友達と一緒に遊びや生活することを通して、日常生活に必要な言葉が分かるようになり、絵本や物語などに親しみ、友達と心を通わせる。	・友達と試行錯誤しながら、共通の目的に向かって活動する中で、自分の考えや思いを出し合ったり、伝え合ったりしながら、葛藤や成功体験を積み重ね、自信を持って自分の思いや考えを話せるようになり、友達と心を通わせる。 ・友達と一緒に遊びや生活をしながら、日常生活に必要な言葉を身に付け、絵本や物語、言葉遊びなどに親しみ、言葉に対する感覚を豊かにする。	
	表現	心情	・感じたことや思ったことを描いたり、身体を動かしたり、自由に表現することを楽しむ。 ・いろいろな素材や用具を使って表現する楽しさを味わう。	・感じたことや体験したことを通して、イメージを膨らませながら表現することを楽しむ。 ・感じたり、考えたり、想像したりしたことをいろいろな素材を使って、自分のイメージでつくる楽しさを味わう。	・友達とイメージを共有しながら、自分たちで考えたことを遊びの中で表現し、一緒に工夫していく楽しさを味わう。 ・体験したり、感じたり、考えたり、想像したりしたことを様々な方法で表現したり、いろいろな素材を使って自分たちのイメージでつくり出していく楽しさを味わう。	①いろいろな物の美しさなどに対する豊かな感性を持つ。 ②感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 ③生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
		意欲	・生活の中で感じたことや体験したことからイメージを膨らませ、自分なりに楽しんで表現しようとする。 ・生活や遊び、自然物など興味があることや経験したことを取り入れ、様々な表現を楽しもうとする。	・いろいろな素材に親しみ、自分のイメージや思いを自分なりに楽しんで表現しようとする。 ・生活の中でイメージを豊かにし、友達と一緒に様々な表現をしようとする。	・いろいろな素材に親しみ、自分たちのイメージや思いをもとに自分たちで創り出し楽しんで表現しようとする。 ・いろいろな体験や生活を通してイメージを豊かにし、感じたことや考えたことを自由に様々な方法で工夫しながら、友達と一緒に様々な表現をしようとする。	
		態度	・いろいろな素材や用具に親しんだり、素材を取り入れたりして、自分なりに表現する。 ・リズムや歌に合わせて、自分なりの身体表現をする。	・自分のイメージを膨らませて、表現する喜びを味わい、友達と一緒にしたり、つくったりする楽しさを共有する。 ・感じたことや考えたことを様々な表現方法で表現するようになる。	・自分の思いや感じたことを豊かに表現し、様々な活動を楽しみながら自主的に取り組み、達成感を味わう。 ・友達とイメージを共有し、目的に向かって表現し合う中で、自分たちのイメージをより豊かに膨らませながら遊ぶ。	

参考資料

絵本	<ul style="list-style-type: none"> ・「どうぞのいす」香山美子、ひさかたチャイルド ・「ねずみのでんしゃ」山下明生、ひさかたチャイルド ・「おおきなかぶ」トルストイ、福音館書店 ・「3びきのやぎのがらがらどん」せたていじ訳、福音館書店 ・「そらめくくん」シリーズ なかやみわ、福音館書店 ・「はらべこあおむし」エリックカール、偕成社 ・「ぐりとぐら」シリーズ なかがわりえこ、福音館書店 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いいからいいから」長谷川義史、絵本館 ・「そらめくくん」シリーズ なかやみわ、福音館書店 ・「じごくのそうべえ」田島征彦、童心社 ・「おしれのぼうけん」古田足日、童心社 ・「もったいないばあさん」真珠まりこ、講談社 ・「にじいろのさかな」マーカスフィスター、講談社 ・「キャベツくん」長新太、文研出版 ・「はじめてのおつかい」筒井頼子、福音館書店 ・「スイミー」レオレオニ、好学社 	<ul style="list-style-type: none"> ・「しりとりのだいすきなおうさま」中村祥子、鈴木出版 ・「100万回生きたねこ」佐野洋子、講談社 ・「花さき山」斎藤隆介、岩崎書店 ・「ないたあかおに」浜田廣介、偕成社 ・「じごくのそうべえ」田島征彦、童心社 ・「かえるくんのたからもの」田中章義、東京新聞出版局 ・「鳥ひきおに」山下明生、偕成社 ・「おおきなおおきなおいも」赤羽末吉、福音館書店 ・「十二支のはじまり」岩崎京子、教育画劇 	
歌・手遊び歌	<ul style="list-style-type: none"> ・「てのひらをたいように」やなせたかし作詞、いずみたく作曲 ・「さんぽ」中川李枝子作詞、久石譲作曲 ・「アイアイ」相田裕美作詞、宇野誠一郎作曲 ・「どんないろがすき」坂田修作詞作曲 ・「たのしいね」山内佳鶴子作詞、寺島尚彦作曲 ・「いぬのおまわりさん」佐藤義美作詩、大中恩作曲、伊東慶樹編曲 ・「とけいのうた」筒井敬介作詩、村上太朗作曲 	<ul style="list-style-type: none"> ・「バスごっこ」香山美子作詞、湯山昭作曲 ・「すうじのうた」夢虹二作詞、小谷肇作曲 ・「ホホホ」伊藤アキラ作詞、越部信義作曲 ・「にじ」新沢としひこ作詞、中川ひろたか作曲 ・「ジグザグおさんぽ」高見映作詞、越部信義作曲 ・「そうだったらいいのにな」井出隆夫作詞、福田和禾子作曲 ・「さんぽ」中川李枝子作詞、久石譲作曲 	<ul style="list-style-type: none"> ・「にじ」新沢としひこ作詞、中川ひろたか作曲 ・「ともだちになるために」新沢としひこ作詞、中川ひろたか作曲 ・「世界中のこどもたちが」新沢としひこ作詞、中川ひろたか作曲、増田裕子編曲 ・「ありがとうの花」坂田おさむ作詞作曲 ・「こころのねっこ」南夢未作詞作曲 ・「ピリープ」杉本竜一作詞作曲 	<ul style="list-style-type: none"> ・こどものうた 200、小林実美編、チャイルド本社 ・続こどものうた 200、小林実美編、チャイルド本社 ・音楽リズム、小林実美編、東京書籍 ・http://www.teasobi.com/teasobi/atama/index.html ・http://j-lyric.net/artist/a00126c/1001078.html ・http://hoick.jp/mdb/detail/9920/%E3%81%AB%E3%81%98

0歳児～5歳児 ビジュアル化カリキュラム



活用にあたって

- ・当資料に掲載されている画像等の無断転載はご遠慮下さい。
尚、子どもの画像につきましては、本市の就学前教育・保育
の研修用としてのみ、保護者の承諾を得ております。

3 策定の経過

【平成 27 年度】

カリキュラム策定部会

	月 日	内 容
1	5月14日(木)	基本方針
2	6月4日(木)	視点・形式
3	6月27日(土)	0歳児～2歳児
4	8月8日(土)	3歳児～5歳児
5	8月22日(土)	年齢と領域の整合性・まとめ
6	10月23日(金)	修正及び次年度へ向けて

【平成 28 年度】

カリキュラム策定委員会

	月 日	内 容
1	5月25日(水)	視点・形式
2	6月11日(土)	グループ討議① (0歳児～2歳児・3歳児～5歳児)
3	7月1日(金)	グループ討議② (0歳児～2歳児・3歳児～5歳児)
4	8月4日(木)	グループ討議③ (0歳児～2歳児・3歳児～5歳児)
5	8月27日(土)	策定案のまとめ (0歳児～5歳児)

【平成 27 年度・28 年度】

子ども・子育て会議

	月 日	内 容
	平成27年10月21日(水)	子ども・子育て会議 カリキュラム策定について
	平成28年3月10日(木)	子ども・子育て会議 教育・保育部会における審議について
	5月13日(金)	教育・保育部会① 平成28年度取組について
	7月29日(金)	教育・保育部会② カリキュラム策定(案)中間報告
	9月26日(月)	教育・保育部会③ カリキュラム策定(案)最終報告
	10月26日(水)	子ども・子育て会議 カリキュラム承認

後 記

本市は、西脇市就学前教育・保育の推進に関する基本方針（平成 26 年 8 月）にのっとり、新たな就学前教育・保育のステージに進むことにしました。平成 27 年度から平成 28 年度までの 2 年間、「西脇市就学前教育・保育カリキュラム」について、教育・保育部会（含策定委員会）の学識経験者、保育所・認定こども園・幼稚園関係者等で協議していただきました。そして平成 28 年 10 月、西脇市子ども・子育て会議に諮り、承認を得て策定いたしました。

なお、本市のカリキュラムでは、具体的にカリキュラムをイメージしやすくし、また各園の研修で有効活用していただけるよう、「ビジュアル化カリキュラム」も作成しております。

最後になりましたが、本カリキュラム策定に当たり、御指導いただきました大阪総合保育大学の瀧川光治教授、神戸常盤大学の松尾寛子講師をはじめ、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

平成 28 年 12 月

西脇市・西脇市教育委員会

西脇市就学前教育・保育カリキュラム策定関係者

西脇市子ども・子育て会議教育・保育部会

部 会 長	西脇こども園長	伊達 恵一
学識助言者	大阪総合保育大学教授 神戸常盤大学講師	瀧川 光治 松尾 寛子
委 員	西脇市立日野幼稚園長 芳田保育園長 西脇市立比延小学校長	堂本 貴子 仲田 保弘 藤原 昌

策定委員（五十音順）

池田 照代（比延幼稚園）	井上由香里（どれみこども園）
大嶋 友希（楠丘幼稚園）	大前貴美子（西脇こども園）
小篠せつ子（津万保育園）	尾芝 恵（芳田保育園）
岸本万穂美（楠丘幼稚園）	岸本ゆりえ（どれみこども園）
小林木綿子（芳田幼稚園）	西田知津代（黒田庄保育園）
西村麻衣子（西脇幼稚園）	深瀬佳代子（日野保育園）
藤井 妙（重春幼稚園）	藤原 幸恵（桜丘幼稚園）
増田 育美（日野保育園）	増田 智加（芳田保育園）
宮崎 宣代（西脇春日保育園）	山口由紀子（比延保育園）

事務局	西脇市教育委員会	学校教育課
	西脇市役所福祉部	こども福祉課

（※敬称略）



平成28年12月
西脇市・西脇市教育委員会